

特定非営利活動法人

JUNKO Association

2019年度事業報告書

-JUNKO Association Annual Report 2019-

(2018/11～2019/10)



世界の恵まれない子どもたちのため

目次

- 04 2019年度を振り返って
- 05 数字で見るJUNKO
- 06 教育支援事業
- 12 文化交流事業
- 16 海外派遣事業
- 20 日本での活動
 - 国内啓発事業の部
 - 雑貨販売事業の部
- 28 受賞歴
- 29 協力者
- 30 会計書類
- 35 ミャンマーでの奨学金新事業について

淳子さんの想いを受け継いで



理事長
松岡良樹

今年は活動を始めて24年目となります。

今年度はミャンマーにJUNKO日緬奨学金財団(JUNKO Japan - Myanmar Scholarship Foundation)を9月6日に創設しました。これは私たちと活動先のLetpadan地域の人々がお金を出し合って基金を作り、その利子で奨学金を出すとともに、双方から理事を出して運営するという新しい形の教育支援組織です。これで学校内だけでなく地域に対しても活動が広がっていきます。

2020年9月のJUNKO Association25周年式典と同時に新しい奨学金が支給されます。またベトナムではJUNKO小学校校長の希望により高橋淳子さんの像を建てる予定です。皆様の力添えをお願いします。



理事
黒滝颯一郎

当団体は来年で団体設立から25周年を迎えようとしております。

私は、社会人理事として再び関わり始めて、1年ほどが経過致しました。

私が学生の時に15周年を迎えた当団体も来年で25周年というのは感慨深いものがあります。

四半世紀活動を続けてくることができたのも今までご支援いただいた皆様、現地でサポートして下さった協力者の方々あってこそだと改めて感じております。ありがとうございます。

ベトナムでの新地域での活動、ミャンマーでの図書館企画など新たな取り組みでの成果も見えてきておりますが課題もあります。

今まで、ご寄付や会員として関わって下さった皆様の知識・知恵をお借りしてそれらの課題を解決していければ、子どもたちの教育環境をさらに良くできるでしょう。一昨年からスタートさせた大サポーター会以外にも25周年を期に皆様との接点を増やし、深いお話ができれば幸いです。

「自分たちにできることは何か、子どもたちのために何をすべきなのか」

一人の女性の想いから始まった活動ですが、今まで関わってきた一人ひとりの想いが重なり、現在を迎えます。

今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

学生による創造と実践の場

24年 経ちました。



高橋淳子 享年21歳

「途上国の人々のために何かしたい。」

ある一人の女性の想いからJUNKO Associationは発足しました。

JUNKO Associationは1995年にある一人の女性の想いから発足しました。ゼミで東南アジアの経済発展について勉強をしていた高橋淳子さん(当時明治学院大学国際学部3年生)はベトナムを訪れ、そこで現地の人々の優しさに触れるとともに途上国という国貧しさに直面します。「ベトナムの貧しい子どもたちのために何か役に立ちたい」という強い想いを胸に帰国しましたが、その数ヶ月後に不慮の事故で帰らぬ人となってしまいました。

彼女の遺志が末永くベトナムの地に残るように、ご両親から頂いた淳子さんの積立金や集まった香典、そしてゼミの仲間たちによる街頭募金で集まった資金で、ベトナムにある小学校を改築します。村人は感謝の気持ちを込めて「JUNKO School」と名付けました。そして、JUNKO Associationの前進がゼミ生を中心に発足し、現在に至ります。2007年にはNGO団体からNPO法人(特定非営利活動法人)へと変化を遂げ、2015年には設立から20周年を迎えました。そして、来年度は25周年を迎えます。今後も淳子さんの想いを受け継ぐために、ベトナム・ミャンマーの人々に寄り添った活動をしていきます。

私たちの使命と目指すこと

Vision

JUNKO Associationは、世界の子どもたちが人として十分に発達することで、彼ら自身が持つ潜在能力を将来において存分に発揮できる社会を目指す。また、日本などの先進諸国の人々が開発途上国の抱える問題や地球規模の問題を理解し、ともに生きることのできる公正な社会が実現されることを願う。

Mission

- 「開発途上国の恵まれない子どもたちがよりよい教育を受けられる環境の創造」
- 「開発途上国の子どもたち自身の学ぼうとする力や意欲を引き出し、子どもたちの視野を広げるような支援活動の実施」
- 「日本の人々に開発途上国の実情や抱える諸問題を伝え、異文化理解や南北間の相互依存に対する理解を促進する」

Highlight from 2018~2019

2019年度の主な成果

ミャンマーにて奨学金基金を設立！ (JUNKO Association基金支出200万円)

ミャンマーでの事業は19年目を迎えました。新たな事業としてJUNKO Japan-Myanmar Scholarship Foundationが9月6日創立しました。現地で行なわれた創立総会では多くのレパダン地域の方々に賛同をいただきました。来年度から奨学金支給と表彰や地域活動を行い、レパダンの教育振興を行います。



街頭募金を実施しました！

戸塚駅東口にて、2019年6月24日～7月5日の2週間街頭募金を実施しました。その結果、戸塚区の皆様から21万3,579円のご寄附を頂きました。集まったお金はミャンマーにあるNo.1 Basic Education High Schoolの図書館である「JUNKO Library」の図書と生徒たちに支給する奨学金に使わせていただきました。



Greeting



諸茜琳
22期専務理事

高橋淳子さんの思いから、1995年にベトナムDien Phuoc村の小学校に教室と体育館を増築し、後にJUNKO Schoolと名付けられました。この小学校改築から始まり、来年度JUNKO Associationは25周年を迎えます。私たちがここまで継続して活動してこられたのは、たくさんの現地協力者並びに日本で日頃より私たちの活動を支えてくださっている皆様のお力があってこそだと感じております。また、今年度ミャンマーに図書を届けるため、戸塚駅で街頭募金を行いました。たくさんの方がご協力していただき、ミャンマーの図書館に本を届けることができました。皆様からのご支援により、私たちJUNKO Associationは活動できているのだということに改めて実感した一年でもありました。

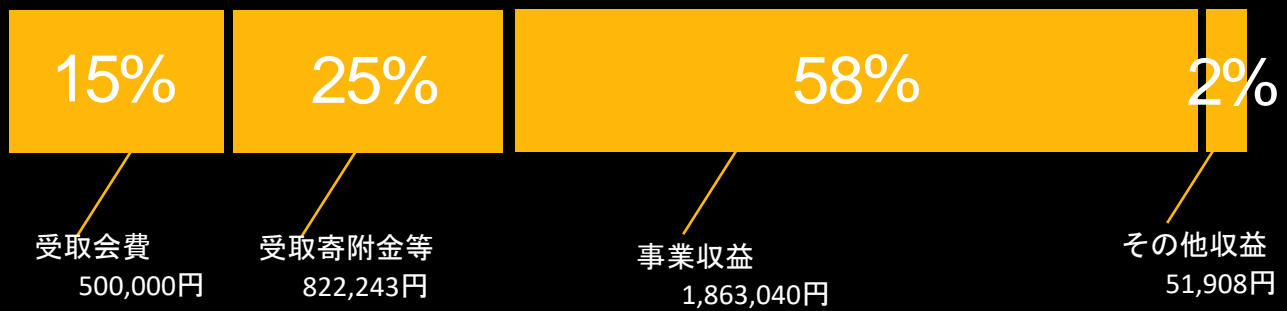
そうした感謝の気持ちを忘れずに、今後もベトナムやミャンマーの子どもたち、また現地のために私たち学生ができることを精一杯取り組みたいと考えております。それに加え、日本でも皆様にベトナムやミャンマーの現状を知ってもらい、現地の子どものためによりよい教育環境が行き届くように学生一同精進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

Record from 2018~2019

2019年度の主な成果

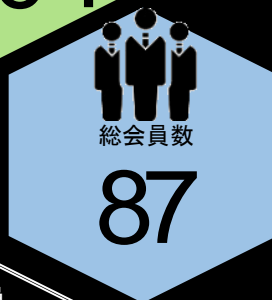
INCOME 323万7,191円



OUTGO 486万8,278円



2019年度はJUNKO Japan-Myanmar Scholarship Foundationに200万円の基金を支出し、成功させました。



会員
社会人会員数は17名増え34名となりました。構成はOBOG中心となっています。安定した事業実現に向けてメンバー維持にも力を入れています。



JUNKO Prize

JUNKO Prize

2019年3月14日/9月7日・8日

生徒たちの自主性や独創性を育てるため、「他の生徒にお勧めしたいもの、自分のお気に入り」についてスピーチを考え、コンテストを行ない、生徒の投票で選ばれた生徒を皆の前で表彰しました。発表することによって、他人に自分の意見や考え方を伝えることができました。



交流校:

Quang Nam省Dien Ban県Dien Phuoc村
JUNKO小学校
Nguyen Thanh Y小学校
Tran Quy CAP中学校



交流参加人数:

JUNKO小学校 3月4年生40人/9月4年生37人
Nguyen Thanh Y小学校 3月4年生30人/9月4年生30人
Tran Quy CAP中学校 3月7年生40人/9月7年生35人

支出額:3月約11,000円/9月約10,000円(日本円換算)



Study Tour

スタディツアー

2019年3月1日

少数民族とダナン近くの農村の子どもたちがお互いの異なる価値観や環境を知るために、それぞれの生徒を相手校に連れて行き、学校紹介や授業参加、学校の校内探検を行ないました。普段関わることのない環境や相手と関わり、互いの価値観や考え方を知り、視野の拡大を図ることができました。また、後日フィードバックとして参加した生徒に新聞を作成してもらい、参加していない生徒へも感想を共有することができました。



交流校:

Quang Nam省Dien Ban県Dien Phuoc村
Tran Quy CAP中学校
Quang Nam省Hiep Duc県
Song Tra村民族半寄宿舎中学校



交流参加人数:

Tran Quy CAP中学校
Song Tra村民族半寄宿舎中学校
それぞれ24人ずつ 計48人

支出額:約11,000円(日本円換算)

Activity Program



Cultivating Student's Assertiveness

積極性向上のための交流
2019年3月20日/9月13日

外部との交流が少ない、少数民族の子どもたちを対象に社会性を育み、子どもたち同士がコミュニケーションを円滑に取れる環境の創造を目指し、チームワークを要する対戦式ゲームの交流を行いました。例えば、フラフープ渡しや風船バレーボールなどを実施しました。交流中は笑顔でゲームを楽しんでいる様子が見られました。



交流校:
Quang Nam省Hiep Duc県Phuoc Gia村
KPA Kolong小学校本校・分校1



交流参加人数:
3月1～4年生計180人
9月1～4年生計94人

支出額:3月約18,000円/9月約9,000円(日本円換算)



Improving Student's Eagerness to Study

学習意欲向上のための交流
2019年3月19日/9月14日

山岳地域では、都市部へ出ることもなく様々な職業を知る機会が少ないため、勉強をする意欲や目的を見出せずに中退する生徒がいます。そこで都市部で働く少数民族出身の方の話を聞かせ自分の人生ロードマップを生徒たちに作成してもらいました。生徒たちの成功体験を生み出せるよう、目標に向かって努力するサイクルを作る一助としました。



交流校:
Quang Nam省Hiep Duc県SongTra村
Song Tra村民族半寄宿舎中学校



交流参加人数:
3月6年生82人/9月6年生65人

支出額:3月約9,000円/9月約7,000円(日本円換算)



Library project

学校図書館支援事業
2019年2月2日/9月5日

2016年に建築したJUNKO Libraryに図書585冊を寄贈しました。日本の貸出し管理システムや利用者へのマナーの啓発方法を紹介し、オリジナルの貸出カードを用いて実践練習を行ないました。既に提案した図書委員制度の実施で運営がスムーズになり、全生徒が毎週1校時図書館を利用する時間割編成がなされました。政府の行う図書館研修に司書教諭が参加し、県の校長会の研修会場となり図書館のモデルになりつつあります。



Bago管区 Letpadan Township
Letpadan No.1 Basic Education High School



交流参加人数
校長先生/司書の先生2人

支出額: 2月約15,000円/9月約130,000円(図書113,579円、日本円換算)



JUNKO Scholarship

奨学金支給事業
2019年9月6日(奨学金支給日)

学校には通えていても、経済的に厳しい状況に置かれている生徒がいます。そこで成績優秀かつ家庭状況の厳しい生徒に助成金を支給しています。低学年・高学年・高校生に基準を分けて40名に支給しました。
また、大学進学者には記念品を贈呈しました。



Bago管区 Letpadan Township
Letpadan No.1 Basic Education High School



交流参加人数
在学生中40人(6~11年生)

支出額: 約170,000円(日本円換算)



JUNKO Japan-Myanmar Scholarship Fund創設

日緬奨学金基金
2019年9月6日

継続的な奨学金支給と幅広い奨学活動を目指して、当法人と地元で資金を出し合い、奨学金基金を創設し、地元レパダン市長の推薦文を付けてミャンマー連邦共和国に申請しました。(2019年12月30日認可)



Bago管区 Letpadan Township



従事者人数
理事3人/監事1人(当法人から推薦)
理事4人/監事1人(ミャンマー側から推薦)

支出額: 寄附金200万円・預託金100万円・ミャンマー側預託金約120万円



Creative Study

創造的思考教育

2019年2月3日/9月6日

教科書を覚えるだけでなく議論する力(ロジカルシンキング＋クリティカルシンキング＋発表する力)も養成を目的とし、意見を聞く力・相手の意見を踏まえて自分の意見を伝える交流を行いました。2月にはディベート大会を実施し、9月には日常生活における自分の行動に関してなぜ行なうのかを考えるワークショップを行ないました。



Bago管区 Letpadan Township
Letpadan No.1 Basic Education High School



交流参加人数
2月9年生91人/9月8年生52人

支出額:2月約1,000円/9月約1,000円(日本円換算)



Hygiene Activity

生活環境改善教育の実施

2019年2月5日/9月8日

毎日勉強するには健康が大事であり、衛生環境の整備が必要不可欠であります。床にゴミがあり、歯磨きが十分でない状況があったため、石鹸・歯ブラシ・掃除道具を寄贈するとともに、掃除の実践と歯科衛生確保のための交流を行ないました。



Bago管区 Letpadan Township
Hanther Aye僧院孤児院



交流参加人数
2月50人/9月54人

支出額:2月約5,000円/9月約4,000円(日本円換算)



Imagination activity

発想力を鍛える交流

2019年1月31日/9月12日

従来の暗記型の授業から生徒自らが考える授業が増えていきます。そこで 問題解決や目標達成のための発想力を鍛える交流を行ないました。発明品を考える交流では、仕事が大変な家族のために考えたものが多く見受けられ、身近に存在する問題を自らのアイデアで解決しようと考えることができました。



Yangon管区 Thanlyn Township
That Dahma Zaw Tika Yon Kyaun僧院学校



交流参加人数
1月7年生32人/9月8年生31人

支出額:1月約6,000円/9月約10,000円(日本円換算)

Activity Program



Activity at High School

日本文化紹介
2019年9月16日

日本のお祭りと縁日を紹介しました。焼きそば・ヨーヨー釣り・かき氷・的屋・ブラックボックス・羽根つきの模擬店を出店し、交流を行ないました。多くの生徒が他国の文化に興味を持つことができました。



Quang Nam省Dien Ban県Dien Phuoc村
Hoang Dieu高等学校



交流参加人数
111人

支出額: 約26,000円(日本円換算)



Activity with Danang University

現地の大学生との交流
2019年3月8日

ダナン経済大学の観光学部の学生と一緒に日本の観光地をめぐるツアープランを考え、発表する交流を行ないました。学生たちの普段の勉強とも関連するため、日本の観光地や文化に大きな興味を持ってもらい、交友を深めることで関係性の強化をすることができました。



Da Nang経済大学



交流参加人数
観光学部の学生27人

支出額: 約3,000円(日本円換算)



Cultural Exchange

文化交流
2019年3月2・3・16日(各校1回ずつ)

ベトナムには課外活動はなく、体育の事業も単純です。日本の学校文化の「運動会」を取り上げ、綱引き・玉入れ・障害物競走に加え、生徒にもベトナムの競技を考えてもらい、小学校2校と中学校1校で運動会を開催しました。楽しみながら、またはチームで協力しながら競技を行なうことで日本文化に親しみを持たせ、日本とベトナムの相互理解の促進を図りました。



Quang Nam省Dien Ban県Dien Phuoc村
JUNKO小学校
Nguyen Thanh Y小学校
Tran Quy CAP中学校



交流参加人数
JUNKO小学校: 4年生115人
Nguyen Thanh Y小学校: 4年生72人
Tran Quy CAP中学校: 8年生132人

支出額: 約32,000円(日本円換算)

Activity Program



Pen pal Communication

ペンパルコミュニケーション
2019年2月2日/9月5日

日本とミャンマーの生徒同士の手紙交換を通じて、相互の文化を紹介し、日本文化を紹介する冊子をミャンマーの生徒に配布し、日本文化を伝えています。日本の授業体験や運動会の紹介を行いました。

また、交流している日本の高校では文通相手を決めて手紙を書いてもらうとともに、ミャンマーの教育制度を紹介し、ミャンマーへの理解を促進しました。



・Bago管区 Letpadan Township
Letpadan No.1 Basic Education High School

・日本の高校6校(川崎市立橘高等学校/横浜市立横浜商業高等学校/横浜市立戸塚高等学校/横浜市立みなと総合高等学校/私立多摩大学付属聖ヶ丘高等学校/私立横浜隼人高等学校)



交流参加人数
2月9日ともに9年生と10年生200人
日本の高校生250人

支出額: 2月約5,000円/9月約16,000円(日本円換算)



Activity with YUFL

現地の大学生との交流
2019年2月7日

日本文化紹介のセミナー開催し、日本から「日本家屋のマナー」YUFL(ヤンゴン外国語大学)から「YUFLの学生生活」のセミナーを行いました。同世代の学生たちと文化交流を行い、新たな関係性を構築し、交流によりお互いの国の現状を知ることができました。



Yangon University of Foreign Language
(ヤンゴン外国語大学)



交流参加人数
日本語学科の学生80人

支出額: なし



Cultural Exchange

文化交流
2019年2月4日/9月7日

外国の文化を知ることで様々な興味を持つきっかけとなるように、2月は英語を用いたゲームやタンバリンやカスタネットを用いて英語の歌を合奏する交流を、9月にはドイツとブラジルの紹介と遊びの体験をする交流を行いました。外国紹介の際、子どもたちは今まで触れたことのない他国の文化に関して興味深く聞き入ってくれました。



Bago管区 Letpadan Township
Boys Training School



交流参加人数
2月22人/9月21人

支出額: 2月約7,000円/9月約6,000円(日本円換算)

Vietnam



ベトナム事業部主任
衛藤美衣菜

今年度もベトナム事業部では、Dien Phuoc村とHiep Duc県にて活動を実施しました。来年度に活動25周年を迎えるDien Phuoc村では「発展途上国の子どもたち自身の学ぼうとする力や意欲を引き出し、子どもたちの視野を広げるような支援活動の実施」のミッションのもと活動を行ってきました。異文化を体験したり、自分の意見を他人に伝えたりする機会が少ない学校において、日本の運動会を伝えたり、自分の意見や創造力を他人に発表する交流を行いました。今後は、生徒たちが身の回りに関心を持って、貢献できること考える交流を行っていきます。またHiep Duc県においては、少数民族の子どもたちが、学校へ行きたいと思える環境を目指すために、義務教育の環境を整備する交流や寄附を行っています。生徒の積極性を育み、生徒同士のコミュニケーションを促進する交流や、勉強をする目的となりうる将来の夢を持てるような交流を実施しました。今後は、義務教育の環境を整備する段階を見直すための調査を主に実施し、企画や寄附に反映していきます。

19 春期短期派遣

(2019/2/21～3/21)

教育支援事業部	文化交流事業
JUNKO Prize スタディツアー 積極性を育むための交流 学習意欲向上のための交流	ダナン大学との交流 文化交流

派遣人数 17名

19 夏期短期派遣

(2019/8/23～9/17)

教育支援事業部	文化交流事業
JUNKO Prize 積極性を育むための交流 学習意欲向上のための交流	高校交流

派遣人数 20名



ミャンマー事業部主任
峯村悠花

レバダタウンシップでは、JUNKO Japan-Myanmar Scholarship Foundationが発足し、レバダン地域内での注目度が上昇しています。夏期短期派遣時には当法人、Support Fundの方々、No.1 Basic Education High School(以下No.1 B.E.H.S.)の先生方、またこの事業に興味を持ってくださっているレバダン地域の方を含め、第1回理事会を現地で行いました。理事会では今後レバダン地域としてどのような子どもたちを育てていくかを議論し、来年度の助成金支給へ動き始めています。また、2016年に設立したJUNKO Libraryも徐々に当初の目標であったモデル校に近づいてきているのが感じられます。No.1 B.E.H.S.では週に1度、授業時間にJUNKO Libraryを利用する他、図書の実施や貸し出し管理システムの導入、図書委員会の設立等様々な変化が見られています。また近隣の学校の先生が集まって研修会を実施する場所になったり、ヤンゴンで実施する司書の研修会に司書の先生が参加したりしています。以上のように政府からも注目を浴びているJUNKO Libraryにおいて今後どのような支援が必要であるのか、現地の先生とたくさん話し合いを重ね、より発展的な図書館になり、子どもたちの学習の一助となったら嬉しいです。今年度の新たな活動やレバダン地域における当方人としての関わり方を改めて考え、現地の方々とたくさん話し合いを重ねていく中でミャンマーの発展を支えていけるような活動をしていきたいと考えています。

19 春期短期派遣

(2019/1/28～2/15)

教育支援事業部	文化交流事業
図書館支援事業	ペンパルコミュニケーション
創造的思考教育	ヤンゴン外国語大学との
生活環境改善教育の実施	交流
発想力を鍛える交流	文化交流

派遣人数 15名

19 夏期短期派遣

(2019/8/23～9/17)

教育支援事業部	文化交流事業
図書館支援事業	ペンパルコミュニケーション
奨学金支給事業	文化交流
日緬奨学金基金	
創造的思考教育	
生活環境改善教育の実施	
発想力を鍛える交流	

派遣人数 22名

母校にて国際協力に関するワークショップの実施



明治学院大学が主催する「明治学院大学ボランティアファンド学生チャレンジ2018」にて13,788円を獲得し、助成金を入学前に海外ボランティアや同様の活動の存在を認知していたら、是非参加したかったという多くの大学生の声から、高校生の将来の選択肢作りを目的として、高校生向けのワークショップを実施しました。実施するにあたっては、明治学院大学が主催する「明治学院大学ボランティアファンド学生チャレンジ2018」にて13,788円を獲得した資金を使用させていただきました。ワークショップにはメンバーの母校である大妻多摩高等学校の1、2年生12人に協力していただきました。活動地の国紹介や団体紹介、どういった経緯でこの活動に参加したのかなどを対談形式で行った後、実際に企画書を作ってみようという実践型ワークショップを実施しました。高校生ながら、熱心に耳を傾けてくれる姿が非常に印象的でした。今後も機会があれば行いたいと思います。

大サポーター一会の開催



24年間の活動の中で学生時代に活動をしていたOBOGの方々や日頃支援してくださっている会員の方に向けて、12月15日に開催し、20名の方に参加していただきました。会では、現在の活動を紹介し、現役生が抱えている課題に対してアドバイスをさせていただきました。また、参加者の中から新たに5名の方が会員になってくださいました。今後も関わりを大切に感謝の気持ちを忘れずに活動していきます。

商品販売



今年度も明治学院大学の2つの大学祭「白金祭」と「戸塚まつり」に出店しました。戸塚まつりでは、新入生による各国の紹介、現地や活動の写真を用いた写真展の開催、現地で買い付けた雑貨の販売を行いました。恒例の行事ですが明治学院大学を訪れる良い機会ですので、ぜひお越しください。

吉祥女子中学・高等学校にて講演会を実施！

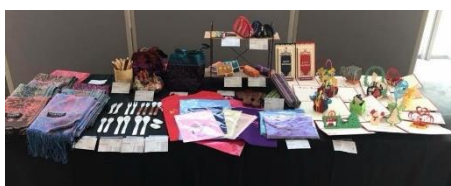


今年度から高橋淳子さんの母校である吉祥女子中学・高等学校にて、JUNKO Schoolとの交流や博物館訪問を行うベトナムスタディツアーを開始しました。そこで生徒の皆さんがベトナムへの知識や関心を身に着けるために、お手伝いさせていただきました。2月7日と14日にはベトナムの国紹介とベトナム語講座を実施し、ダナン大学からの留学生にも講師として参加してもらいました。留学生からはベトナム語の発音や主に使う表現などを教えてもらいました。生徒の皆さんは勉強熱心で、ベトナムにおけるマナーやよく使うベトナム語の表現などを果敢に質問してくれました。いつか一緒に活動できることを期待しています。

他団体の活動への参加

杉並文化フォーラム

4月30日と11月6日に杉並文化村様が主催する杉並文化フォーラムで、物品販売をさせていただきました。
1年に2回、童謡や能などの文化を伝えるイベントを開催しています。



キワニスドールフェスティバル

7月6日に東京キワニスクラブ様主催の、キワニスドールを作るイベントに参加しました！キワニスドールは、病気の子どもたちを応援する目的で作られています。



国内啓発の部主任
杉野 沙歩

今年度は、これまでの繋がりを意識した活動に力を入れました。特に、当法人のOBOGの方々を対象にした企画を実施しました。例えば、6月と12月には現在の活動報告やディスカッションを行いました。また、今後OBOGの方々との関係がどう関わっていけるのかを知るためにアンケートを実施し、多くの方々に回答をいただくことができました。上記のようにOBOGの方々と繋がる機会が増えたこと、また年度が半年経った頃に今まで会員だった方々に現在の活動をお伝えし、再度会員継続の呼びかけを行いました。それらの活動の結果、新たに17名の社会人の方々が会員になってくださいました。今後も応援してくださっている方々への感謝を忘れずに、多くの方々を巻き込み、ベトナム・ミャンマーでの活動の発展に貢献できるよう広報活動を行って参ります。





ビジネス事業部主任
佐山 聡

今年度は、現地への還元率の向上を目指しました。収入の増加にむけた試みとして、新規の協力店を獲得するための営業活動を行いました。ミャンマーの主力商品であるシェルカトラリーをレストランやカフェで使用される食器として提案し、新たに2店舗が協力店として参入してくださいました。結果として、2019年度収益は2018年度比103%と、順調に成長しています。しかし、現地への還元率はおよそ70%と低いため、より還元率を高めるための純利益の向上が求められています。そこで、2020年度はベトナム・ミャンマーの経済成長に伴う商品原価の高騰を解決し、商品の直接取引を目指した新規工場の踏査並びに関係性の構築に力を注ぐことで、純利益の向上を目指し、現地への還元率を高めていきます。

19 春期短期派遣

ベトナム	ミャンマー
2019/2/28~3/21	2019/1/29~2/15
4名	1名

派遣人数 5名

19 夏期短期派遣

ベトナム	ミャンマー
2019/8/14~9/2	2019/8/22~9/11
6名	4名

派遣人数 10名

Record from 2018~2019

雑貨販売・国内販売事業の2019年度実績
ベトナム・ミャンマーで買い付けた商品をお買い求めできる協力店の情報

CLASKA

東京目黒区中央町1-3-18



デザインフィル

東京都渋谷区恵比寿1-19-19



ぽれやあれ

東京都杉並区高円寺南3-44-6



パパテオ

JR大船駅から約15分



※個人宅のため、
詳細はホーム
ページをご覧ください。

RAKU

神奈川県鎌倉市浄明寺2-2-2



Point Weather

神奈川県 横浜市港北区綱島西
1-14-18



カフェゆっくり堂

横浜市戸塚区矢部町125善了寺内



事業の成果

イベント・小売販売: 616,300円

卸売・委託販売: 1,246,740円

その他収益: 28円

収益計: 1,863,068円

詳細はホームページ・SNSをご覧ください

<https://www.junko-association.org>

受賞略歴

2000

フジテレビ系西日本放送にてJUNKO Schoolのドキュメンタリー放送

2001

シチズン・オブザ・イヤー2000 受賞
キワニスインターナショナル青少年教育賞 受賞

2006

ケーブルテレビ「Area4」にて紹介を受ける

2008

第8回ソニーマーケティング学生ボランティアファンド 助成

2009

財団法人学生サポートセンター国際協力団体 助成
東京キワニスクラブ奉仕賞 受賞
第9回ソニーマーケティング学生ボランティアファンド 助成

2010

第55回イーバーツリユースPC寄贈プログラム 受賞

2012

第11回ソニーマーケティング学生ボランティアファンド 助成

2015

ベトナム全国紙「Toi Tre」に掲載

JUNKO School20周年式典の様子が掲載される

2016

よこはま国際協力賞 受賞

2017

日本財団学生ボランティアセンターGakuvo 助成
エフエム戸塚「戸塚の力」初出演

2018

2018明治学院大学 ボランティアファンド学生チャレンジ賞 受賞

2019

2019明治学院大学 ボランティアファンド学生チャレンジ賞 受賞
ミャンマー全国紙「The Mirror」に掲載

Bago管区Letpadan市での活動の様子が掲載される

ベトナムのテレビ放送「VTV4」に取材を受ける

JUNKO Schoolの歴史と交流活動の様子が放映される

交流学校名

川崎市立橘高等学校 / 私立吉祥女子中学校・高等学校 / 私立横浜隼人高等学校 / 私立山手学院高等学校
私立森村学園中等部・高等部 / 多摩大学付属聖ヶ丘中学校・高等学校 / 横浜市立横浜商業高等学校 /
横浜市立戸塚高等学校 / 横浜市立みなと総合高等学校

支援団体・個人

社会法人東京キワニスクラブ/任意団体横浜アクションプランナー /
NPO法人 杉並文化村 / NPO法人 杉並子ども未来委員会 / 一般社団法人 アジア婦人友好会 /
NPO法人もったないジャパン / 高野道郎メモリアルプロジェクト/ 株式会社 JOBIA
明治学院大学ボランティアセンター / 明治学院大学校友会 / 明治学院大学学生部 / 高橋廣太郎 / 萩原丈司 /
瀬山奏 / JUNKO Association学生メンバー保証人・同OBOG

販売協力

グランフォーレ戸塚管理組合 / 中華街パーキング協同組合 / 株式会社クラスカ / パパテオ / ぽれやあれ /
RAKU / 株式会社デザインフィル / 株式会社 JOBIA / Point Weather / カフェゆっくり堂 / 社会福祉法人日本国
際社会事業団(ISSJ)

募金設置協力店

チャイニーズキッチンさかくら / ホワイト急便那智が丘1丁目

～ベトナム～

▼Quang Nam省

Quang Nam省教育事務所(DOET) / Quang Nam省奨学会(LEA) / QuangNam省 Dien Ban郡 Dien Phuoc社
Dien Ban郡奨学会(LEA) / Dien Phuoc村 People Committee
JUNKO小学校 / Nguyen Thanh Y小学校 / Tran Quy CAP中学校 / Hoang Dieu高等学校

▼Quang Nam省 Hiep Duc県 Phuoc Gia社

Phuoc Gia 村 People Committee / KPA Kolong小学校本校 / KPA Kolong小学校分校1

▼Quang Nam省Hiep Duc県 Song Tra社

Song Tra社民族半寄宿舎中学校

～ミャンマー～

▼YANGON管区 Thanlyn Township

That Dahma Zaw Tika Kyaun 僧院学校

▼Bago管区 Letpadan Township

Letpadan No.1 Education High School / Boys Training School / Hanther Aye 僧院孤児院

▼その他

Yangon University of Foreign Language 日本語学科

▼協力者

Dr.They Lwin (Myanmar-Japan Society事務局長)

現地協力者

Nguyen Van Phuoc 氏(ベトナム) / Danang Youth Volunteer Group(ベトナム)
U Tin Maung Oo 氏(ミャンマー) / Letpadan Support Fund(ミャンマー)

理事・監事・顧問

理事長: 松岡良樹 副理事長: 竹尾茂樹 専務理事: 諸茜琳

理事: 岸雅大、黒滝颯一郎、渡邊晃仁

学生理事: 青山舜、金澤萌、酒井怜奈、永井友美華 監事: 東樹康雅、浜田憲和

顧問: 江橋正彦・U Tin Maung Oo

活動計算書

特定非営利活動法人
JUNKO Association

2018年11月1日から2019年10月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員及び賛助会員受取会費	500,000	
2. 受取寄付金		
受取寄附金	797,910	
3. 受取助成金等		
受取助成金	24,333	
4. 事業収益		
(1) 教育支援・文化交流・派遣事業	0	
(2) 国内啓発事業	0	
(3) 雑貨買付・国内販売事業	1,863,040	1,863,040
5. その他収益		
(1) 受取利息	28	
(2) 雑収益	51,880	51,908
経常収益計		3,237,191
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費	0	
(2) その他経費		
売上原価	827,028	
諸謝金	340,993	
通信運搬費	42,607	
印刷製本費	162,847	
旅費交通費	90,562	
消耗品費	16,282	
地代家賃	181,759	
出店費	27,216	
支払助成金	143,976	
支払寄付金	2,384,863	
現地交流費	225,497	
租税公課	4	
支払手数料	4,217	
為替差損	18,410	
雑費	7,800	
その他経費計	4,474,061	
事業費計		4,474,061
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費	0	
(2) その他経費		
通信運搬費	1,640	
印刷製本費	774	
会場費	2,340	
諸会費	30,000	
支払報酬料	129,800	
支払手数料	5,662	
その他経費計	170,216	
管理費計		170,216
経常費用計		4,644,277
当期経常増減額		△ 1,407,086
III 経常外収益		
IV 経常外費用		
1. 雑損失		
経常外費用		4,401
税引前当期正味財産増減額		△ 1,411,487
法人税・住民税及び事業税		219,600
当期正味財産増減額		△ 1,631,087
前期繰越正味財産		5,806,136
次期繰越正味財産		4,175,049

財 産 目 録

2019年10月31日現在

特定非営利活動法人

JUNKOAssociation

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手許現金 (円)	0	
手許現金 (アメリカドル) USD3,092.00 (為替レート108.88円)	336,656	
手許現金 (ベトナムドン) VND2,193,300 (為替レート0.004656円)	10,212	
手許現金 (ミャンマーチャット) MMK7,048 (為替レート0.07082円)	499	
小口現金 (イベントおつり用現金)	60,000	
普通預金 三菱UFJ銀行戸塚支店	2,087,270	
普通預金 三菱UFJ銀行戸塚支店 (緊急時積立金口座)	111,000	
郵便振替口座 ゆうちょ銀行 (たかじゅん基金)	41,545	
現金預金合計	2,647,182	
売掛金		
卸売り販売商品代金	306,900	
商品		
食器等 (倉庫管理品)	51,242	
小物類 (倉庫管理品)	37,026	
布製品 (倉庫管理品)	16,250	
アクセサリ (倉庫管理品)	7,110	
メッセージカード (倉庫管理品)	152,005	
商品合計	263,633	
貯蔵品		
SR会員特典企画購入品	6,060	
寄付物品 (図書309冊他)	100,751	
貯蔵品合計	106,811	
短期貸付金		
海外派遣貸付金	150,000	
前払費用		
前払家賃 倉庫賃借料11月分	21,165	
流動資産合計		3,495,691
2 投資その他の資産		
差入保証金		
倉庫賃借契約	12,000	
預託金		
JUNKO Japan-Myanmar Scholarship Foundation	1,000,000	
投資その他の資産合計		1,012,000
資産合計		4,507,691
II 負債の部		
1 流動負債		
未払法人税等		
法人税、住民税及び事業税	219,600	
預り金		
学生より緊急時積立金	111,000	
源泉所得税	2,042	
預り金合計	113,042	
流動負債合計		332,642
負債合計		332,642
正味財産		4,175,049

貸借対照表

2019年10月31日現在

特定非営利活動法人
JUNKO Association

(単位：円)


科 目	金 額	
I 資産の部		
1.流動資産		
現金預金	2,647,182	
売掛金	306,900	
商品	263,633	
貯蔵品	106,811	
短期貸付金	150,000	
前払費用	21,165	
流動資産合計		3,495,691
2.投資その他の資産		
差入保証金	12,000	
預託金	1,000,000	
投資その他の資産合計		1,012,000
資産合計		4,507,691
II 負債の部		
1.流動負債		
未払法人税等	219,600	
預り金	113,042	
流動負債合計		332,642
負債合計		332,642
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		5,806,136
当期正味財産増減額		△ 1,631,087
正味財産合計		4,175,049
負債及び正味財産合計		4,507,691

2020年1月6日

監査報告書

特定非営利活動法人 JUNKO Association

理事長 松岡 良樹殿

監事 東樹 康雅 

監事 濱田 憲和

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人 JUNKO Association の2019年度（2018年11月1日から2019年10月31日まで）の事業報告書および計算書類(財産目録、貸借対照表及び収支決算書)について監査を行った。

私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会の議事録を確認し必要と思われる場合には理事長および担当する理事に質問を行った、また経営の状況及び財産に関する監査に当たっては、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な補償を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び2019年度の活動方針、事業計画にに基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に沿って訂正に処理しているものと認められた。

よって私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人 JUNKO Association の2019年10月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況および同日現在の財政状況を適正に表示しているものと認める。

<JUNKO Association 活動報告付録>

■JUNKO日麺奨学金基金(JUNKO Japan -Myanmar Scholarship Foundation) 設立しました。

この財団はMyanmar連邦共和国内の財団です。2019年9月4日にJUNKOAssociationはBago管区Letpadanの人々とともにお金を出し合い、銀行に預けた利子（約10%）で奨学金を生み出そうというものです。

最初の基金としてはJUNKOから200万円の寄贈と100万円の預託、そして地元Letpadanの町の人々から1640万Kyat(約120万円)のお金が寄せられています。

2019年9月4日に設立総会ではMyanmar側22人・JUNKO側18人が出席して定款が承認され、理事が選出され、代表理事にU Tin Maung Ooさん、副代表理事にU Tin Winさんが選出されました。そして財団はLetpadan市長の推薦がつけられてMyanmar政府への申請がされました。(追記:2019年12月30日認可)

<財団の目的>

この財団の目的は4つです。外国のNGOが行為を直接行うのではなく、ミャンマーの財団が行うので、奨学金の支給や行事の開催が今までより楽になります。

①奨学金の給付

基金を集め銀行利子により奨学金を支給します。

②学習意欲向上のための表彰

独自の視点から子供たちの意欲が上がるような表彰を行います。

③教育の発展と学習意欲向上のための活動

街の人々と学校との協力により、映画会・講演会・コンテストなどを行います

④その他

時間とともに活動は広がります。教育による地域振興活動を考えています。

<財団の運営>

- ・理事会はJUNKOより3名、地元から3名、それにLetpadanB.E.H.S(1)です。
- ・奨学金等選考委員会は校長と教員3名、地元の人3名で行います。成績と経済事情を把握するためです。
- ・監事はJUNKO・地元の人・教員からそれぞれ1名です。

<財団の特長と未来へ>

日本の多くのNGOは日本からお金や技術を持って行って現地に落とす事例が多いものですが、この財団は地元からもお金を集め協同して事業を行うことがなによりの特長です。またJUNKOの活動は教育省に申請した、学校内の活動に留まりますが、財団と協力することにより地域活動も行えるようになります。

皆さんから寄せられた募金はこの財団の基金となりました。

この先JUNKOの活動報告書とともに財団の活動を報告していきます。

支援のお願い

ベトナムとミャンマーの子どもたちの教育環境改善のために、ご協力をお願いいたします。
ご寄附頂いた資金は全て、現地での活動費として使わせていただきます。

◇会員になって支援する

社会人会員:5,000円

賛助会員:5,000円以上

◇モノで支援する

当団体では写真集、ファッション誌、漫画などの図書や使わなくなった文房具などのご寄附をお受けしています。

◇資金で支援する

ベトナムとミャンマーでの教育支援活動、そしてそれを支えるJUNKO Associationの活動に使わせて頂きます。

【郵便振替】

トクビ)ジュンコアソシエーション

口座番号:00230-9-8995

【銀行振込】

ゆうちょ銀行 029支店 当座:0008995

トクビ)ジュンコアソシエーション

※ お振込みの際に手数料がかかりますのでご了承ください。

※ ご寄附の際にはお名前をご明記ください。

詳細は団体ホームページをご覧ください。

JUNKO Association

検索



特定非営利活動法人 JUNKOAssociation

●法人事務所

〒248-0014

神奈川県鎌倉市由比浜3-7-3

TEL:0467-23-6660

MAIL:junko.association.sr@gmail.com

●学生連絡先

〒244-8539

神奈川県横浜市戸塚区上倉田町1518

明治学院大学 学生部気付

公認団体 明治学院大学JUNKO Association

編集責任者

松岡良樹

